＜先週の説教から＞

『黙示録 ６３ー新しい都にて』

エゼキエル書４０：１～４ ヨハネの黙示録２１：９～２１

黙示録の最後の２つの章に入っています。ヨハネが与えられた《新しい天と新しい地》の預言はまさに終末＝キリストの再臨の時に起こる出来事を示しているのでした。

そして、今日の聖書の箇所では、さらにヨハネが、あの「七つの鉢をもつ七人の天使」の一人から「神のもとを離れて天から下って来る」「聖なる都エルサレム」（９～10 節）を見させられる様子が記されています。

この“都”については、前もって以下のようにヘブライ人への手紙 11 章の中で記されていた都でした。即ち「信仰によって、アブラハムは他国に宿るようにして約束の地に住み、同じ約束されたものを共に受け継ぐ者であるイサク、ヤコブと一緒に幕屋に住みました。アブラハムは、神が設計者であり建築者である堅固な土台を持つ都を待望していたからです。（中略）神は、彼らのために都を準備されていたからです。」とありますように。神様から『父の家を離れなさい』と命じられて、行く先を知らずに家族の元を離れたアブラハムは、その息子のイサクや更に孫のヤコブも同様に、その生涯の間ずっと「幕屋」に住み続けたのでした。幕屋とは移動式のテントのことであり、定まった持ち家や居住地を持たず、生涯を旅に暮らしたという意味です。その生き方を可能にしたのは、神の都＝天の都を待望していたからだと言われているのです。この生き方は私たち、新約聖書の信仰に生きる者のあるべき姿とされて来たのでした。それこそが「信仰によって」生きることだと、この有名な信仰の章であるヘブライ人への手紙 11 章が教えてくれていることなのです。

その待望されていた《神の都＝天の都》がこの最後の時、天から降りて来るのだと黙示録は告げます。ここでわざわざみ国と言わずに、都と言われていることは、①エルサレムの町とエルサレム神殿が意識されており、②そこで暮らす者たちの生活という点も意識されていると言い得るでしょう。

ただ、ここで黙示録が特に強調していることとして、この都は「小羊の妻である花嫁」と言われている点です。これは既にこの章の２節でも「更にわたしは、聖なる都、新しいエルサレムが、夫のために着飾った花嫁のように用意を整えて、神のもとを離れ、天から下って来るのを見た。」と言われていることにも表れています。「子羊」とはイエス様のことですから、神の都とイエス様が《結婚式》を挙げる時でもあると言うことなのです。これは何を意味しているのでしょうか？

一つには、イエス様の花嫁と言われることで、この都が単なる場所や領域を指しているのではなく、むしろ一人の人格を持つような、生きている存在であることを示していると言い得ます。そして、もう一つの意味としては、聖書で言う“結婚”とは、創世記２章で「男は父母を離れて女と結ばれ、二人は一体となる」と言われているように、別々に生きて来た者同士が《一つになること》ですから、ここでも、イエス様が地上に再び来られた時、新しい天と地が現れ、そこに神の都が降りて来て、イエス様とひとつにされる、一体化されるのだと預言されていると言い得ます。解説者によれば、この都こそ後の世における教会の姿だと言われています。まさにキリストの体となるのだと！なるほどです。そして、この都には「高い大きな城壁と十二の門がある」とされています。これは終末の時に、地上で生きていた（天にまだ召されていない）者たちを迎い入れるための門だということでしょう。

どうでしょうか。私たち一人一人の人生で考えれば（終末が生きている間に来なければ）、この世を（アブラハムと同じように）“旅人”として生きた後、イエス様に招かれて《天の都》へと入れられることでしょう。そしてそこで世の終わり、終末を待つのです。そしてその時が来たなら、その天の都はそのまま新しい天と地へと下され、その新天地でキリストによって全く新しい体とされて、新しい生活を始めるようになるのだと言われているのです。そのことを信じます！

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【今週の集会】

◉聖書研究・祈祷会 Ⅰ.
Ⅱ.
休　会

【教勢報告】

主日礼拝	無会衆
祈祷会 Ⅰ.	休　会
祈祷会 Ⅱ.	休　会
日曜学校	休　校

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【次週礼拝】　８月 ２９日（日）

聖　書：　詩　編　１８：３９～５１
マタイによる福音書　１１：２８～３０

説　教：「詩編１８Ⓑ ― 主は命の神」
武田 真治 牧師

讃美歌：　２０２、３２、４１９、３５２、２４

【次週当番表】

司式：茨木公子長老　奏楽:羽倉長老　礼拝:坂田長老
献金：長老　　受付：長老
会堂準備：東　阿部　伊藤　伊藤ゆ
岩井明　岩井真

【次週集会予定】

６２－３４

週　報

2021 年度　教会標語

「信仰に支えられて、共に生きよう！」

２０２１年　８月　２２日

日本キリスト教団　**上尾合同教会**

牧　師　　武田　真治

〒362-0041　上尾市富士見２－３－33
TEL＆FAX　048－771－6549
http://www.ageo-church.org/